

一般社団法人 長岡青年会議所

12月例会

羽ばたくリーダー～受け継がれるJCの魂～

会員NO.24

TAISUKE YOSHIOKA

吉岡 泰 佑



一般社団法人 長岡青年会議所

12月例会

羽ばたくリーダー～受け継がれるJCの魂～

活動年表

氏名	吉岡泰佑		正式 入会	2017年 3月21日		出席率	
年号	所属委員会	理事	日本JC	地区協議会	ブロック	前期	後期
2017	人財育成委員会					29%	86%
2018	人財育成委員会 会計幹事					100%	100%
2019	未来へ語り継ぐ委員会 運営幹事	○				100%	100%
2020	まちづくり委員会 副委員長					100%	100%
2021	地域の絆委員会 委員長					100%	100%
2022	人財委員会 育成委員	○			アカデミック 委員会	100%	86%
2023	専務理事	○				100%	100%
2024	副理事長	○			政策提言委員 会	100%	

一般社団法人 長岡青年会議所

12月例会

羽ばたくリーダー～受け継がれるJCの魂～

インタビュー



JCに入られたきっかけを教えてください。

金子隼人先輩から誘われたことがきっかけ。当時、入会に前向きになれなかった為、紹介者である遊座先輩と弊社社長との3人での面談の際に社長から入会NGと回答してもらおうと考えていたが、打ち合わせ不足で「本人に任せている」と言われてしまい断る理由が無くなり入会に至った。

JC活動で一番印象に残っていること、印象に残っている例会を教えてください。

2018年8月例会（焚火例会）

備品の数がおそらく日本一多かった例会で、当日2度も会場に救急車が来た。



JCに入ってから失敗談を教えてください。またその失敗はJC活動以外にも活かされましたでしょうか。

委員長の時に行った地域連携会議の1回目で長岡JCの先輩を地域の代表者として呼び出した際に、話をうまく広げられず、先輩方を失望させてしまった。事前準備は十分だと思っていたが実際は準備不足となってしまう。100%準備をしても、本番で100%準備通りできるわけではない。事前準備の大切さをその後活かしている。



一般社団法人 長岡青年会議所

12月例会

羽ばたくリーダー～受け継がれるJCの魂～



JCに入られて、成長を実感したと思ったのはどんな時でしたか。また、成長に繋がったと思った事業があれば教えてください。

ハイパーリンクを使いこなせるようになった。

当時早い段階でZOOMを使うようになった。

お陰でその後のオンライン上での仕事に対してスムーズに対応出来た。

JCで与えられた役職に対し、どのようなモチベーションで活動していたのか教えてください。受けて良かった点を教えてください。

「受けたからには絶対に裏切らない」
「ごっこを全力でやる」
この言葉を胸に活動してきました。



JCの活動において、やり残したことはありますか。また、何故そう思われるか教えてください。

会頭になれなかった。
やるからにはトップを獲りたいから。



一般社団法人 長岡青年会議所

12月例会

羽ばたくリーダー～受け継がれるJCの魂～



卒業後長岡に対してどのような貢献しているかと考えていますか。そして、どんなリーダーとしてあり続けていきたいですか。

ビジネスで貢献する。より多くの法人税を納める企業になる。仲間内で長岡の若者がまちに希望を持ってもらいたいという想いで立ち上げた法人があるので、イベントやセミナー等の企画運営を行う事でリーダーとしてあり続けたい。

JC卒業までにこれだけはやっておけ！
後輩メンバーへ熱いメッセージを下さい！

JCはもちろん、社内、家庭や自分の周りにより多くの味方を作っておくこと。



長岡を、地域を、今後どう変えていくために、長岡JCはこうあるべきやこうしたらいいとかありますか。

長岡市や各支所地域では取り組まないこと、やりたいけど実行するには困難なこと・思いつかないことをやっていくべき。

一般社団法人 長岡青年会議所

12月例会

羽ばたくリーダー～受け継がれるJCの魂～



JC活動の中で得られた一番のものはありますか。

多くの人との繋がり。本気になって取り組むからこそ表面上ではなく深い人間関係を構築できたと思う。また、元々、自己肯定感が高い方だったがより高められた。ただ、家族からの信頼は失ってしまった。

私たちが取材しました

私、稲垣 敏生、小島 義瑛 が
インタビューさせていただきました。



稲垣 敏生

吉岡泰佑御卒業生は今年度新入会員の私のメンターです。日頃よりお世話になっているので、スムーズのインタビューできたかと思います。いつも明るくみんなをにぎやかにさせてくれる吉岡御卒業生も過去には、いろいろな失敗があったり、悩みがあったりと普段の雰囲気からは想像できない一面を聞くことができました。とても有意義な時間でした。

「100%以上の準備をしても本番100%できるとは限らない」という内容はとても印象に残りました。どんなに準備を頑張っても思い通りにならないからといって、準備を疎かにしたらもっと大変なことになってしまうと思う。本番だけ本気になるのではなく、準備の段階から100%以上の心持ちで活動することが大切であると思いました。また、本気になって取り組むからこそ深い関係性を築ける組織であるなど改めて実感しました。「ごっこを全力で」行っていきたいと思える機会となりました。



小島 義瑛